

第2期復興・創生期間における ふくしまの復興・創生に向けて

2021年3月1日
福島県



福島県
復興シンボルキャラクター
キビタン



ふくしまから
はじめよう。

Future From Fukushima.

県内飲食店



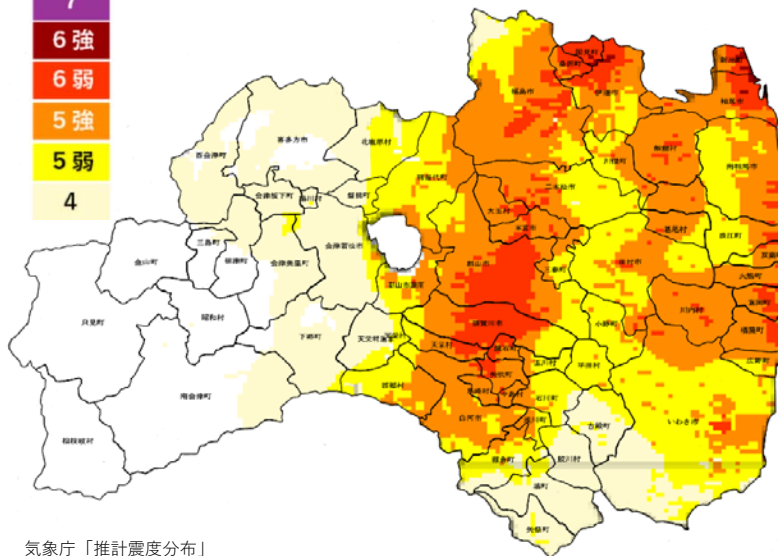
県内スーパー



推計震度分布図



福島県推計震度分布

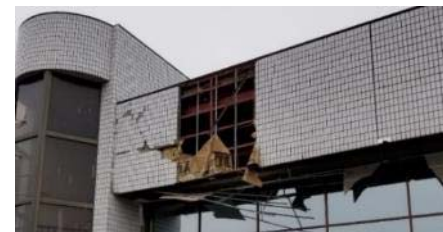


気象庁「推計震度分布」
(<https://www.jma.go.jp/jma/press/2102/14a/kaisetsu202102140110.pdf>) を加工して作成

被害状況 (R3.2.25時点)

- ◆ 人的被害
死者1人、重傷者5人、軽傷者96人
- ◆ 住家被害
全壊24棟、半壊57棟、一部破損4,065棟
- ◆ 非住家
公共建物354棟、その他284棟
- ◆ 道路被害
県管理道路4件、市町村道67件
- ◆ その他被害 131件

新地町【金融機関】



須賀川市【県道成田鏡田線(橋梁)】



いわき市【家電量販店】



相馬市【松川浦漁港(臨港道路)】



新型コロナウイルスへの緊急対策として実施した県内飲食店等への時短要請等を今月14日に解除し、再開に向け準備を進めていた矢先の地震発生

被災中小事業者の早期復旧に向けた支援

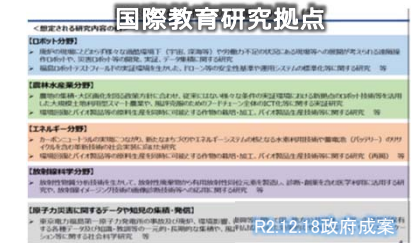
や

インフラの復旧等に対する支援

などが必要

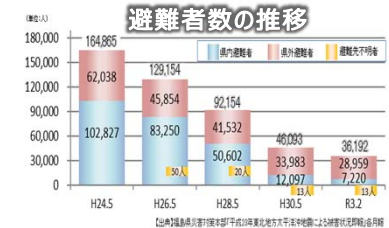
1. 福島イノベーション・コースト構想の推進

- 構想の司令塔となる**国際教育研究拠点**について、既存の研究施設等と一体となって、福島の特徴をいかした研究開発や人材育成を行うことが重要。
- 設置される新法人は、縦割りを排した総合的な復興庁所管の国立研究開法人とし、長期にわたる予算・人員体制を、国が責任をもって確保していただきたい。
- **新たに設置された関係省庁会議**に、県からも参画し、福島ならではの課題や研究内容について議論を重ねていく。県としても、立地地域の提案など**広域自治体**としての役割をしっかりと果たしていく。



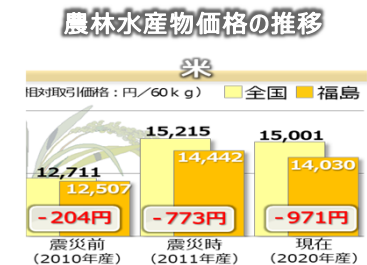
2. 避難地域の復興・再生

- **地域により復興の進捗は異なり、復興のステージに応じた課題に直面。**
- **帰還環境の整備に加え、地域に新たな活力を呼び込むため、移住の促進や交流人口拡大に取り組む必要。**
- **帰還困難区域については、除染・家屋等の解体を含む具体的方針を早急に示し、区域全体の避難指示解除について責任を持って対応していただきたい。**



3. 風評・風化防止対策

- **農林水産物の価格水準の低下を始め観光業など多くの分野において風評の影響が根強く残る。**
- **新型コロナの影響により、福島を伝える情報量が減少し風化が加速。**
ウィズコロナやデジタル化などの社会変容を踏まえた新しい視点で、福島らしい情報発信を行っていく。



4. 原子力発電所事故への対応

- 中間貯蔵施設について、除去土壌等の輸送を安全・確実に実施するとともに、法律に定められた搬入開始後30年以内の県外最終処分が確実に実施されるよう最終処分の方向性の検討を進めるなど、国は責任を持って取り組んでいただきたい。
- ALPS等処理水の取扱いについては、県内外の様々な意見等を踏まえながら、国の責任において慎重に対応方針を検討していただきたい。



5. 新産業の創出・生業の再生

- 「再エネ社会の構築」と「水素社会の実現」に向け、関係機関が連携して、福島新エネ社会構想で掲げた取組を進めることが重要。
- 「福島ロボットテストフィールド」や「ふくしま医療機器開発支援センター」を始めとする福島の産業を力強く飛躍させるための拠点施設を最大限活用し、新産業の創出と被災地域の産業の再生につなげていく必要。



6. 農林水産業の再生

- 農林水産業の再生は道半ば。農林漁業者等へのきめ細かな支援の継続や、営農再開の加速化、担い手の確保、操業拡大に向けた漁船等の整備などの取組が必要。
- 新たな県オリジナル米「福、笑い」を始めとした、「ふくしま」ならではの農林水産物のブランド確立が不可欠。



